

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

産業構造の転換が急務だ 行天 豊雄 (国際通貨研究所理事長)

1. 製造業、特に電機や自動車が、日本経済の柱であるとの観念がある。1980 年代以降、これらの産業を守ることが大事だという認識が定着してしまった。しかし円高だから政府・日銀が円高対策を繰り返し、それ故に産業構造が変わっていかないのは、果たしていいことだろうか。
2. 今のドル円相場は、どちらかといえば円安の領域に入ってきた。いつかはわからないが、均衡する方向、つまり円高に戻っていくと思う。2 年後に物価目標を達成すればなお円高方向だろう。そのときにまた「問題だ」と騒ぐのか。日本の製造業は研究開発、調達、生産を世界でやる、それで生きていくべきだ。日本の GDP や雇用への寄与は減るが、それでいい。無理に日本のために国内生産や雇用維持をしてもらっても逆効果だ。
3. 医療や環境、通信、教育や文化、サービス業など、日本市場を相手にし、それで非価格競争力がある業種が強くなっていく必要がある。そういった産業構造にシフトしていかなければ、日本に未来はない。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2013 年 6 月 8 日号)

新規成長分野

アフリカは「王子」に食い込む

1. 6 月初頭に横浜市で開催した第 5 回アフリカ開発会議。ここで、アフリカ 6 カ国とビッグビジネスを結実させた小さな日本企業がある。社員 12 人のビー・エム・シー・インターナショナル (BMC、大阪市) だ。国際会議に併設した商談イベント「アフリカ・フェア」に出展したところ、黒人男性がふらりとやってきた。その男性は、スワジランドのドラミニ皇太子だった。部下たちを前に皇太子は言った。「我が国にこのシステムを入れる」。
2. BMC が展示したのは消費税の徴税システム。スウェーデンなど世界 23 カ国に導入実績がある。約 6 億円の売上高は 100% 海外だ。「日本が井戸や橋を作ってくれるのはありがたい。ただ、これからは日本の進んだ仕組みが欲しい。両国でともに繁栄しよう」(コンゴ共和国大統領)。日本企業にとって大きな商機が広がるアフリカ。中間層をすっ飛ばし、国のトップへ直接売り込む。 (参考:「日経ビジネス」: 2013 年 7 月 8 日号)

人事・労務について

日本の社会に合う終身雇用制

御手洗 富士夫 (キャノン会長兼社長)

1. 日本では終身雇用が合理的だと考えている。資本戦略や開発戦略はインターナショナルだ。しかし人事はローカルなものだ。移民が多く多宗教多民族で、ルールで成り立っている流動性の高い米国社会には米国のやり方がある。しかし日本は基本的には同一民族で互助の精神が社会にある。だとすれば、その特色を生かす経営のやり方が合理的だ。
2. 流動性の高い社会は、せっかくその人材に投資しても辞めてしまうので、教育投資効率が悪いともいえる。終身雇用は安心して生涯教育ができる。それから、入社して一生勤めるつもりであれば、自分の会社を傷つけるようなことはしないはず。終身雇用には文化的ガバナンスがある。

(参考:「週刊東洋経済」2013 年 6 月 8 日号)

古典に学ぶ

功を誇る者は功を失う

(解説) 高くなろうとして爪先で立てば、かえって足もとが定まらぬ。遠くへ行こうとして大股で歩けば、かえって足がはかどらぬ。不自然な作為は、長続きせぬものだ。自然を離れて作為する者は、物の法則の一面しか捉えていない。これらはみな、「道」から見れば役立たずである。「道」を体得した者は、そういう一面的な立場を取らない。

(参考: 奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」: 徳間書店)